

安全な透析へ創意工夫

4病院がコロナ対策報告

道臨床工学会

第31回北海道臨床工学会(会長・大倉協和R札幌医療センター臨床工学科長)が、オンラインで開催された。パネリストは「報告」COV-D-19に対するそれぞれの取組みと活躍では、札幌厚生、市立駒路総合、市立札幌、小樽市立の4病院の臨床工学科士が、安全な透析治療の実現に向けた感染対策を報告した。

札幌厚生病院臨床工学科長(報告)は、技術科の岡部翔大氏は、「透析室のCOV-D-19感染対策」をテーマとし、具体的な対策を報告した。透析機に消毒液を散布し、透析室のドアを開け、透析機を消毒するなどの対策を講じた。また、透析室のドアを開け、透析機を消毒するなどの対策を講じた。

同時に3台まで透析可能な。一方、徹底したPPE、ゾーニングなどに伴いスタッフの負担は想像以上に大きく、複数の感染病棟がある場合の監視モニター、生体情報モニターは必須と訴えた。

去性能、スタッフ確保が問題となったことから、陰圧管理可能な部屋を透析できるように隔離陰圧室を準備。その後は来院患者が同時に透析可能となり、紫外線照射装置の導入で、エアロソールを軽減し、2部または3部透析が実現したが、台数、効率、除菌などの課題が残った。

小児神経筋疾患患者にeスポーツ ゲーム通じ社会参加支援

北海道医療センター

遊びや学び、社会参加をサポートしている。eスポーツは、神経筋疾患患者に、役割を持つ機会を提供し、社会参加を促している。北海道医療センターは、神経筋疾患患者の社会参加を促すため、eスポーツを導入した。患者は、ゲームを通じて、コミュニケーション能力を高め、社会参加を促している。



年齢、障害の程度が異なる患者が集まりeスポーツを楽しむ様子

当初は難しかった機操は、チームワークを学ぶ作業を工夫・解決していく中で、自信を持ち向上心が育まれたという。各自が戦略を決めて5人1組で挑むゲームで、ゲーム総量の増加に伴い発症の危険性が高まる。課題は、ゲームの難易度を調整し、プレイヤーのスキルに合わせたゲームを提供すること。また、ゲームを通じて、コミュニケーション能力を高め、社会参加を促している。

コメデイカル

体が不自由で美容室に行けない、聴覚障害などで意思疎通が難しいといった、高齢者や障がい者に対する福祉美容師が注目されている。札幌市で運営するサロンを拠点に訪問美容を行う関川さとみ氏に話を聞いた。

介護施設での経験が豊富な関川氏は、福祉美容師として活躍している。高齢者や障がい者に対する福祉美容師が注目されている。札幌市で運営するサロンを拠点に訪問美容を行う関川さとみ氏に話を聞いた。

支援推進

美容室は少ない。福祉美容師の育成が課題となっている。福祉美容師の育成が課題となっている。美容室は少ない。福祉美容師の育成が課題となっている。

北海道美容師会が、福祉美容師の育成に取り組んでいる。北海道美容師会が、福祉美容師の育成に取り組んでいる。北海道美容師会が、福祉美容師の育成に取り組んでいる。